



## 《将来に向けた取組方針》

当社は、レスポンシブル・ケアの取り組みを通じて、環境保全のひとつである生物多様性保全を推進し、社会の持続可能な発展に貢献する。

長期目標（愛知目標）に向け、地域コミュニティとも協力し保全活動を継続することで、絶滅危惧種の保護、陸域生態系の確保、回復を図る。また、近隣小学校を対象とした環境教育の定着を推進する。

### 〈具体的取組み事例〉

環境保全の一環として、当社静岡工場の敷地内にビオトープを形成し生物多様性保全に取り組んでいる。このビオトープを中心に外部とのコミュニケーションを図っている。

直近では、ビオトープ内で育ったミナミメダカ（絶滅危惧種ⅠA類）を近隣小学校へのご提供を通じて観察会・出前授業などを実施した。



出前授業

### 学んだこと・成果等

保全活動を通じミナミメダカの個体数がビオトープ造成前後で約20倍増加。これにより、地域（団体・企業・学校）にメダカのご提供が図れた（延べ600匹）



観察会

### 〈今後の課題等〉

- ・ビオトープ内の生態環境維持に向けた保全および生息実態の把握とモニタリング
- ・ビオトープを通じた地域コミュニティとの対話促進。

### 〈社会に向けたメッセージ〉

地域とともに生態系を育む